

2019 年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会



女子 52kg 級

うちおまこ
内尾真子
(愛知県出身)
初優勝

令和元年 11 月 2 日から 3 日の間、千葉ポートアリーナで行われた 2019 年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会に体育学校から山崎珠美 3 等陸尉以下 9 名の選手が出場した。

4 つの延長戦を戦いぬいた

続け、試合開始から 10 分 32 秒、相手の反則により試合終了となり内尾 2 曹の準決勝進出が決まった。

準決勝でも内尾 2 曹は 11 分 58 秒の激闘を制し、自身初となる決勝戦へ進出した。

大会 2 日目、女子 52kg 級に出場した内尾真子 2 等陸曹は 1 回戦を内股、2 回戦を大外刈とそれぞれ優勢勝ちで制し、3 回戦へ駒を進めた。内尾 2 曹は試合開始直後から果敢に攻めたが、規定の試合時間である 4 分以内に決着がつかずゴールデンスコア（延長戦）へ。相手との攻防戦により右手薬指を負傷し痛みに顔を歪めたが、脱臼した指を自身で戻し、痛みに耐えながら試合を続けた。左手しか使えず不利な状況のなか一切引けを取らず攻



念願の初優勝に笑顔がこぼれる内尾 2 曹

迎えた決勝戦の相手は国際大会でも実績のある立川莉奈選手（福岡県警察）だ。試合開始から積極的に攻め、相手に指導が 2 つ、自身に 1 つと有利に進めたが、決着がつかずゴールデンスコアにもつれ込んだ。今大会、初戦以外の全ての試合でゴールデンスコアを制している内尾 2 曹は最後まで攻めの姿勢を崩さず、試合開始から 8 分 35 秒、相手に 3 つ目の指導が入り反則勝ち。講道館杯初優勝を収めた。

試合後、内尾 2 曹は「優勝できたことは嬉しい。延長戦は苦しかったけど、勝ちたい一心でひとつひとつ泥臭く技を出し続けた。理想は投げて一本を取って勝つこと。この階級には強い選手がいるのでそこに勝たなくてはならない。」と語り、今後のさらなる飛躍を誓った。

男子 90kg 級に出場した前田宗哉（まえだかずや） 2 等陸曹は、2 回戦からの出場。2 回戦・3 回戦と一本勝ちで制し、4 回戦を優勢勝ちで準決勝に進出した。準決勝の相手はリオデジャネイロオリンピック金メダリストのベイカー茉秋選手（日本中央競馬会）だ。相手に指導が 2 つ入り、有利な試合運びだったが合技で一本を取られ敗退した。3 位決定戦では釣腰で一本勝ちを決め講道館杯で初めて表彰台に上がった。



力強く攻める前田 2 曹（右）

女子 70kg 級に出場した新添左季（にいぞえさき） 2 等陸曹は、1 回戦・2 回戦を一本勝ち、3 回戦を優勢勝ちで準決勝へ進んだ。準決勝ではゴールデンスコアに突入し激闘を繰り広げたが、小内刈で一本負けを喫した。3 位決定戦では内股で技ありを奪い優勢勝ちを決め、第 3 位の成績で講道館杯を終えた。



冷静に組手争いをする新添 2 曹（右）

PHOTO GALLERY
自衛隊体育学校フォトギャラリー
各戦場の写真をアップ!

選手たちの活躍を自衛隊体育学校ホームページ・インスタグラムをご覧ください。
http://www.mod.go.jp/gsd/phy_s/index.html



web サイト



インスタグラム